

課題名：グローバル事業志向型MD医療機器開発アクセラレーション拠点

代表機関／代表者：国立大学法人 東京科学大学/飯田 香緒里
 分担機関：なし
 研究期間：令和7年7月～令和8年3月

支援内容・体制

【支援内容】

- **ニーズ起点フェーズへの支援** (ニーズ探索/課題設定)
 - ・臨床現場研修プログラムの提供
 - ・臨床ニーズの探索と検証の場の提供 }ヘルステックデザインプログラム他
- **開発・実装フェーズ支援** (コンセプト構築・技術開発・事業化)
 - ・工学的アプローチを用いた開発事業化のロードマップ策定
 - ・臨床現場と理工系資源が連動するPoC取得フィールドの提供
 - ※日本版SPLプログラム (米国Brigham&Women'sHospital (ハーバード大学関連病院) と共同実施)
 - ※国際医工共創研究院
- **医療機器スタートアップ起業支援** (右下図)

【支援体制】

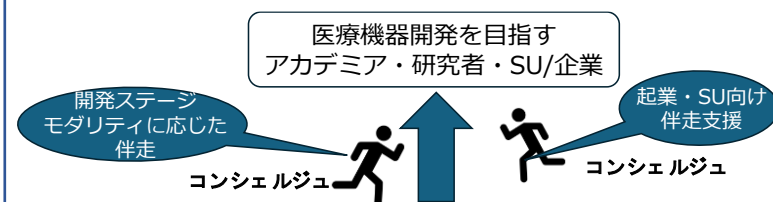
医療機器イノベーション・コンシェルジュ体制【右上】(臨床的評価・薬事・償還・知財・開発・事業化・起業等の専門家によるサポートを医療機器コンシェルジュが一元的にプロデュースする体制)に加え、医療機器SUに特化した起業支援で、医療機器開発を志向する全国のアカデミア・研究者・企業・SUの支援を行う。

成果・実績 (予定)

- 伴走支援体制の高度化と見える化
- 10案件以上に対する支援
- 拠点発スタートアップ起業案件の組成

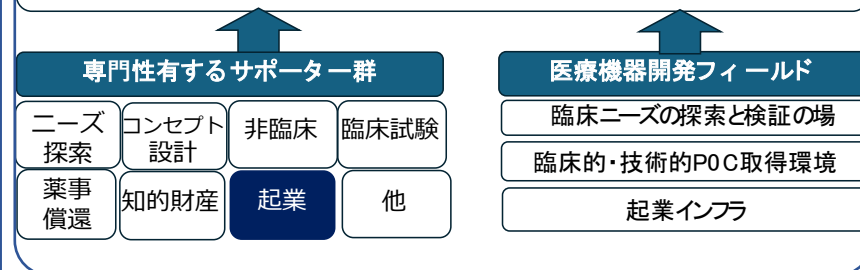
支援イメージ

【医療機器コンシェルジュ体制】



医療機器コンシェルジュによる総合プロデュース

案件毎に最適なリソース (専門人材・フィールド等) を用いて開発を伴走



支援イメージ

【医療機器スタートアップ 起業支援メニュー例】

	アイデア創出	ビジネスモデル	チーム作り	開発環境整備	起業時	起業後
支援内容	ピッチイベント Grant 紹介	事業構想 国際展開 メンタリング	CxO人材・VC等 マッチング	開発環境 マッチング	ライセンシング 交渉 登記	事業戦略 メンタリング